

【8月号：バナナの国で平泳ぎ】

【水泳：合同チーム】

エルオロ県には2つのチームがあります。今まで合同チームを結成したことはありませんでした。エルオロ県の水泳人口は決して多くありません。フルメンバーで大会に出場するのはいつも難しい状態です。今年もこの課題にぶつかったのですが、以前から声かけをかけていたもう1つのチームが、一緒に大会に参加しようと協力してくれました。



もちろん、反対派もいました。合同チームなので、結果はどういう形で共有するのかという話し合いをしました。僕は合同練習ができればいいくらいで考えていたので、細かいところまで話し合いがあり同僚や保護者達の真剣さを感じられてよかったです。

色々ありましたが、最終的にはスポーツ省が定めた規則により合同チームが出来上がりました。しかし、チーム結成に至るまで取り組んだことは無駄ではないはず。もう1つのチームはヘッドコーチがアルゼンチンの方で、ペルー人の奥さんがサブコーチをしていることが分かりました。お2人は以前僕の配属先で働いていたそうです。エルオロ時代に出来なかったことを今されているようですが、それが泳力別指導だそうです。そう、僕が今取り組んでいる課題です。「やっぱり、これが必要だよね」、そう思った出会いでした。

【同期隊員の来訪】

他の任地から同期隊員が遊びに来てくれました。マチャラは辺境にあるので、普段は中々できない活動写真の撮影をしてもらいました。後で写真をもらって、また肌が焼けたなど笑いました。みんなで食事に行ったり、市内を回るバスツアーに参加したり、中間報告会に向けて不安を語ったり、楽しい時間を過ごせました。



マチャラには僕以外にもシニアボランティアの方がおられ、同期の隊員達とその方のお宅で日本料理をご馳走になりました。この方のお宅では、エクアドルの食材が日本料理になるので驚きです。ステイ先でも食事には恵まれているのですが、シニアの方のお宅で日本料理も食べれるので、おいしいことだらけです。幸せですね。

【中間報告会】

8月21日から22日まで首都で中間報告会が行われました。年明けに先輩隊員の発表を聞き、次は自分の番だと思っていたらあつという間に出番がやってきた。

僕の番は2日目の最後から3番目でした。25年度1次隊には水泳隊員が3人がいます。水泳隊員は3人が続けて発表でした。昼休憩後の報告会のトリが水泳で、食事中はまったく食べ物が喉を通りませんでした。いざ発表となると、頭の中が真っ白になりましたし……。意識が戻った頃には発表も終盤に差し掛かり、今まで何を話していたんだ？という状況になり、とにかく頭の中が大変なことになっていました。



発表が終わると、一気に肩の力が抜け、気が楽になりました。スペイン語が口から出るかどうかではなく、それ以前の問題で苦しんだように思えた今回の発表会でした。いずれにせよ、配属先やカウンターパート、また関係者の方々とこういう形で情報共有ができ、有意義な発表会ができたと思います。

今回発表をされたボランティアの方々、準備の方お疲れ様でした。報告会ができるのも、活動先やたくさんの方々の協力のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、今後も頑張りたいと思います。